

ご家族の方へ

お子さんの転倒・転落防止対策へのご協力をお願い

お子さんの入院は、これまでと違う環境の中で療養生活を送ることになります。入院した時は元気がないことが多いのですが、回復するにつれてベッド柵を乗り越えるなど思いがけない行動をとり、転倒や転落により、けがをしたり、骨折をする場合があります。当院では、このような事故を起こさず安全な療養生活を送れるよう、転倒・転落防止対策を実施しております。事故を未然に防ぐためにも、ご家族のご協力をお願いいたします。

お子さんの転倒・転落を防ぐための注意点

1. ベッド柵は必ず上げてください

- ①ベッド柵を上げなかったり半分しか上げないと、お子さんがベッド柵から顔を出して覗きこんだり、つかまり立ちをした時に転落することがあります。
- ②ご家族がベッドを離れたたり、荷物を整理したりするためにしゃがんだりするときは、ベッド柵を必ず上げてください。お子さんは、ご家族が目を離れた一瞬の隙で転落することがあります。
- ③お子さんが寝ていても、ベッド柵は上げてください。
- ④ベッド柵を下ろす時は、お子さんを柵から離し、正面に立ちお子さんから目を離さず操作してください。
- ⑤お子さんがベッドから降りた後も、ベッド柵は必ず上げてください。お子さんがベッドによじ登り転落することがあります。

2. 転倒・転落時はお知らせください

お子さんが転んだり、どこかに身体をぶつかったりした際は観察が必要です。必ず看護師にお知らせください。

